



2016年
5月20日発行

拝啓

木々の緑が一層美しく感じる今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

新生活のドタバタでどっと疲れた感じがするというあなた！

世間の喧騒から離れて図書館の静けさに心を癒されに来ませ
んか？ お一人様でも友達とでも有意義に過ごせる図書館に
ぜひいらしてくださいね（^o^）

かしこ

＊＊＊今月のおすすめ本＊＊＊

『夏の庭』 湯本香樹実／著

（請求記号：913.6/Y979//E）



小学6年の男の子3人と近所に住むおじいさんの
ひと夏の物語。死んだ人を見たことがない三人の近所のおじいさんの
「観察」から始まった小学生とおじいさんの関係はいかに…！
「ぼく」目線で書かれているので小学生男子の懐かしいやりとりで
くすっとしたり、何より文章がとても読みやすい一冊です♪

（LiLian*ゆうみ）

2016年6月～7月 カレンダー



6月

日	月	火	水	木	金	土
			1 	2 	3 	4
5 休館	6 	7 	8 	9 	10 	11
12 休館	13 	14 	15 	16 	17 	18
19 休館	20 	21 	22 	23 	24 	25
26 休館	27 	28 	29 	30 		

8:30～20:00

9:00～16:30

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1 	2
3 休館	4 	5 	6 	7 	8 	9
10 休館	11 	12 	13 	14 	15 	16
17 休館	18 	19 	20 	21 	22 	23
24/31 休館	25 	26 	27 	28 	29 	30

最新情報はHPを見てくださいね☆

金城学院大学図書館



LiLian 活動レポート

今回のこのコーナーは私達LiLianが作成している、リブレター制作の裏側についてお送りしたいと思います。

✿ 約2ヶ月ごとに発行されるこのリブレター。新学期になり、はじめて手に取る方も多いのではないでしょうか？ リブレターは各コーナーをそれぞれLiLianのリブレターチームが分担して一つのものとして作り上げています。 その完成までの過程を覗いてみましょう！

【季節の挨拶】

まずははじめは、このリブレターの顔となる季節の挨拶と本紹介から♡
季節感を感じさせてくれる言葉たちに彩られているこの挨拶ですが、
文字数が限られている中でいかに簡潔にわかりやすく伝えられるかが
とても重要になります！ 毎号個性的な季節の挨拶をみることができますよ♪

【本紹介】

この本紹介では実際に図書館にある様々なジャンルの本の魅力を伝えます♡
私自身、本紹介に載せる本を探す過程で、新たな本と出会える発見も
あります！ それほど金城学院大学図書館にはバラエティ豊かな本が
揃っています。ぜひ紹介されている本を手にとってみてください♪



【活動レポート】

図書館のイベントや私達 LiLian の活動を報告するこのコーナー☆

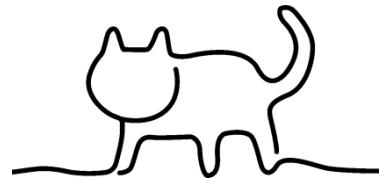
毎号違ったさまざまな活動が報告されるほど金城学院大学図書館には

様々なイベントや LiLian の活動がいっぱいです！時にはそういった

内容以外のユニークな記事も垣間見ることが出来ますよ♪

【インタビューコーナー】

最後はインタビューコーナーについてです！



インタビューでは事前に先生方の新たな一面を引き出すために、沢山のインタビュー内容候補を考えます。 実際にインタビュー当日はとても緊張しますが、普段なかなか聞けない先生方のあっと驚くようなお話やプライベートなお話が聞けたり、なかなかお目にかかるない先生の研究室におじゃまできたりと、とっても貴重な経験ができます♡

先生方の面白いお話に時にはインタビューを忘れ思わず聞き入ってしまう時もあります（笑） 今後あなたの好きな先生も登場するかもしれないですよ！要チェックです♪

このようにリブレターは毎号ごとに LiLian メンバーたち、一人一人の熱意が詰まっています。完成までにはインタビューの先生方など多くの方々の協力からも成り立っています。これからも誠心誠意リブレター制作に努めていきますので、お見逃しなく！！ ちなみに、リブレターのバックナンバーは金城学院大学図書館のホームページからみることができますよ！（LiLian*えみ）

☆ 自然派ナチュラル♪

☆ プロのピアニスト

☆ 音楽芸術学科の教授



1. 好きなモノはなんですか？

好きなモノは大きくまとめると自然です。

食べ物はオーガニックなど自然なものを選んで食べるよう心掛けています。

心身ともに健やかであることが何より大切だと感じています。

動物も植物も生き物はみんな大好きです。(家では猫を飼っています。)

2. 金城生に対して思うこと

学ぶということを素直に受け入れ、勉強する姿勢が身についている学生さんが多いと感じます。勉学に本気で取り組むことを楽しんでいる、そんな学生さんによく出会います。

また、私たちの学科ですと、ピアノなど演奏技術の習得のために毎日夜遅くまで大学の練習室で練習している学生さんも多いのですが、目標に向かって自分の技量を磨きつつも、ライバルでもある友達を大切にしていて仲が良いのですね。とても素敵だなと思います。

周りの人に優しい配慮ができるといった女性らしさを兼ねそなえつつ、学ぶことに対して貪欲で真摯な姿勢を持ち続けることを、今後も大切にしてほしいです。

3. ピアノの魅力を教えてください

音楽そのものが素晴らしい、その素晴らしい音楽を奏でることができるピアノだから面白いのですが、他の楽器にはないピアノの魅力は何かと聞かれれば、自分1人でも、誰かとアンサンブルをしても、どちらでも楽しめる楽器だということだと思います。

私が特にピアノが面白いと思うのは、演奏という身体の動きを研究すればするほど奥が深く、その研究の成果が確実に演奏技術の向上や、より美しい音になって表れるということでしょうか。去年弾けなかつたものが今年弾けるようになったとか、去年より美しい音で奏でられるようになったとか、この年齢になっても実感できるのは嬉しいことです。

また、今取り組んでいる曲を作った作曲家に、直接会って話したりすることができなくても、その作品を通して彼らのメッセージを感覚で感じとれるということはとても素敵だと思います。遠い昔に生きた人の思いを音として聴くことができるのは、ピアノをやっていてよかったなと思う瞬間です。年を重ねれば重ねるほど、その発見は増えていきます。古くから取り組んでいる曲でも、以前聴こえなかった、深いメッセージが聴こえるようになると新たな感動を覚えます。ピアノという楽器の弾き方にこだわっても、作品の中身を探ることにこだわっても、楽しいことばかりです。



4. 金城の校訓、『強く、優しく』について

とても素敵な校訓だと思います。私は、人が生きている意味は自分を磨いて成長することだと思っています。自分を磨くということは自分を大切にすることなのだと思いますが、必ずしも楽しいことばかりでなく、時にはしんどいこともあります。

学長が、入学式の祝辞で「愛するという言葉を大切にするという言葉に置き換えてみてください、そうすると分かりやすいです。」とおっしゃっておられました。とても良くわかるお話で、すっと私の中に入ってきました。自分を大切にし、周りの人や自然を大切にする。それは「優しい心」がなくてはできません。でも、自分や誰かを本当に大切にするために、時に、自分を律することや、勇気を持って行動しなければならないことも出てくるのではないか。それが「強い心」ということなのだと思います。

自分や誰かを本当の意味で大切にするということは、優しく強くなければできないこと。自分を磨き続けることにもつながることのように思います。



5. 座右の銘を教えてください

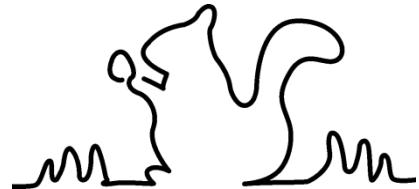
「人間万事塞翁が馬」（じんかんばんじさいおうがうま）

中国の古典、『淮南子（えなんじ）』にある話から生じた言葉です。ここで言う「人間」とは世間のことで、世間で起こる一つ一つの出来事に一喜一憂せずに、多角的な視野で物事を見ることの大切さを説いたものです。少し長いお話ですが、ネット等で調べて読んでみてください。

私は、嫌だなと思うことがあっても、これはきっと自分磨きの課題なんだなと受け止めるようにしています。学生のみなさんにもこの考え方を勧めています。なんでこんな目に遭うんだろう？と感じる時があっても、まずはそれを受け止めて、自分のできることを淡々とやりましょう。頑張るのではなく楽しくです。自分の望んだことでなくとも、嫌な顔せずに淡々とこなしてみてください。それは自分にとって必要なことなんだ、自分磨きなんだなと思ってやってみましょう。きっと神様がどこかで見ていてくださっていて、自分がその課題をこなして成長できた時に、何かが変わると思うのです。

ただ、そうは言っても実際には苦しくて折れそうになる時もあると思います。そんな時、「人感万事塞翁が馬」の話を思い出してほしいのです。それが楽に生きるコツかなと私は思っています。

6. 好きな本を教えてください



今というより、子供の頃に読んだ本ですが『小公女』(フランス・ホジソン・バーネット/著)は素敵なお話でした。アニメ等で知っておられる方も多いと思います。少女サアラの姿勢は、座右の銘のところでお話ししたことにつながるものが あるかもしれません。まだ読んだことのない方はぜひ読んでみてくださいね♡

《感想》

今回のインタビューは音楽芸術学科の教授陣のなかで、唯一の女性である馬場先生に様々なお話を聞いていただくとても素敵なお話でした。約2時間というインタビュー時間でしたが、あっという間に感じてしまうほど密度の濃い内容でした。この場をお借りして、本当にありがとうございました！（ななこ）